



三条北ロータリークラブ週報

行動に信念を—信念は行動に—

BELIEVE IN WHAT YOU DO —
DO WHAT YOU BELIEVE IN —
国際ロータリー会長 ロバート R. パース 第2560地区ガバナー 細渕久雄

例 会 日
1993. 11 . 9
累 計 No 341
当 年 No 18

会 長／羽 賀 一 夫
幹 事／長谷川博一
S A A／早 川 瀧 雄

例会日／火曜日 PM12:30～1:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160
F A X ☎33-8972

行 事： 市内3 RC合同例会 於 ハミングプラザVIP

出 席： 本日の出席 55名中50名（内記帳9名）

先週の出席率 55名中53名 96.36%（前年同期92.86%）

先週のメイクアップ： 11月4日 新潟西RCへ 淵岡 茂さん

8日 三条南RCへ 木本達郎さん 鈴木英友さん 佐藤文夫さん
目黒宣行さん 外山晴一さん 梨本清一さん 石月雅司さん
中条耕二さん 石川勝行さん 佐藤啓策さん

ビ ジ タ ー： 加茂RCより 小林賢次さん 大橋栄雄さん

三条RCより 平原信行さん

三条南RCより 弥久保藤雄さん 丸山由春さん 池田 繁さん 永桶栄資さん
佐藤英一さん

会 長 挨拶： 羽賀一夫

北クラブの羽賀でございます。

受付で聞きましたら今日は全部で151名という大勢の皆さんからおいで戴きました。確か去年より30名程多いと思います。先程席に座っておりました所、南クラブの鈴木会長さんからこれだけ大勢の参加は、北クラブさんの魅力によるものですね言われすっかり気を良くしております。幹事を引き受けました北クラブを代表しまして、御礼と一言挨拶を述べさせて戴きます。

さて私どもの北クラブは8年前そのとき30才の三条クラブを父とし、20才も年の離れたすてきな南クラブを兄貴と仰ぎ中条会長、梨本幹事体制で産声をあげました。三条クラブさんの人間ならば30才が一番働き盛期そして精力絶倫のころの子供であります。その強烈な一滴で生まれた訳ですから我が北クラブの元気の良いこと、手に負えないこと、出来の良い兄貴に比べ、この言うことを聞かない粕おじめ、作るんじゃなかったと思っていらっしゃるのでは無いでしょうか。中条さんや梨本さんもこの手に負えない悪がきを捨てて三条クラブに戻りたいなあときっと思っていられっかい

私は良い先輩に恵まれ、RCライフ30年を迎えようとしております。大先輩金子左武郎先輩、渡辺惣吉先輩、平原二三郎先輩、鈴木宗資先輩、岩井先輩、野水先輩等チャーターメンバーから目標とすべく50年皆出席をめざして頑張りたい、そしてRI会長から、おめでとうと言われたいと念じております。お笑いになって結構です。私は完全に出席率を意識する人間になってしまいました。鈴木現会頭さんから、ロータリーの出席についてやかましく言われたことが、すっかり身についてしまったのです。

ロータリアンに必要なことは与えられた奉仕に邁進することであろうと思います。二度も会長をさせて頂き、見附市にもロータリーの火を灯させて頂き、無上の幸せですが、隣に栄町、下田村があります。ライオンズさんを気にしているわけではありませんが、拡大可能と思っております。親子で会長を勤められた方が出て来たことは大変喜ばしいことと思います。田中佐造さん、田中正佐久さん、馬場由太郎さん、馬場信彦さん、今度生まれる、高橋儀平さん、高橋一夫さん、仲良く親子でロータリーの会長をつとめられることは立派と言うべきだと思います。三クラブで表彰されても良いのではないかと思います。

ユニークな方に近藤与助さんがおられます。メーカーは全国のロータリアンのベスト10に入る方と思っています。年間50の例会出席中常に200%～250%と記憶致しております。ロータリー外交の特に秀い出た方というべきだと思います。

私は今年フィリピンに8回出掛けました。フィリピンに友達が100名以上できました。ロータリアンもおります。国際化時代を迎えて久しいわけですが、これからRCが海外に目を向ける時代と思います。日本のRCの歴史は本格的には戦後からであろうと思います。三条クラブが誕生して36年、三条南クラブが誕生して24年、北クラブが生して8年を迎えました。この三クラブが仲良くやれることは、三条市RCとして海外との交渉をもつことだと思います。私の知っている横浜のロータリアンは12月になるとハワイで過し3月迄、4ヶ月ハワイの別荘で、70才から過されています。人の一生は限られていると思います。ロータリークラブが憩いの場、やすらぎの一時であって欲しいと念願致している者であります。

増強拡大のみを計っていたロータリークラブも世の中の変遷で、大きく変化してゆく様です。細川政権で大分世の中が変るといふ人もおります。三条市の産業界等変る中で、三条三クラブ合同例会は意義あるものであらうと思います。

つたない思い出や私見もまじえて恐縮致しております。三クラブの発展と皆様方のご健勝を心から祈念を致し、私の卓話とさせて頂きます。ご静聴誠にありがとうございました。

開宴のあいさつ： 三条クラブ上木会長

「行くことばが美しければ来ることばも美しい」と申します。こんな思いやりのある会話で友情を結ぶ第2部にしていだきたいと思います。

11月16日例会： 会員卓話 早川瀧雄さん 内藤 修さん

11月30日例会： 会員卓話 梨木建夫さん 山本 充さん

ます。特に今年はそう思っています。だいたいこの年頃は野道の草も厭がる年頃だと、昔年寄りに聞いたことが有ります。ところがこういう悪がきが意外と立身出世するものでは無いでしょうか、そして成人したところは年老いた父親と老け込んだ兄貴の面倒を見るくらいになって居ると思います。それまでは大目に見て今の所どうぞ容赦下さい。そして毎年行われるこの合同例会で年毎に成長するこの北クラブを見守って下さいますようお願い致しまして挨拶を終わります。

幹事報告： 長谷川（博）幹事

◇ なし

卓話： 三条市内3RC合同例会 三条北RC中條耕二さん



本日は恒例となりました三条市内3クラブの合同例会であります。第一回は三条RCの初代幹事のユーモアと話術の秀いでた鈴木先輩の卓話、第二回は三条南RCの初代会長であります金子六郎さんのシベリヤ抑留生活のマイナス20度、30度の生活の事、ふるさと三条を偲ぶ、大変印象に残る卓話でありました。

本日は我北クラブの担当となり、羽賀会長より君は初代会長であるからと指名され、RCの指名されたら断われない不文律により、担当致すことになった次第であります。三条Cの鈴木先輩や、南Cの金子初代会長さんの様なわけには参りません事は充々承知致しております。予めお許しいただきたいと思ひます。

私は昭和39年（1964入会）11月初めに三条クラブのチャーターメンバーの野水文治さんのご紹介によって入会させて頂きました。一週間に一回昼食を共にしてお話を聞く会と簡単に入会させて頂きましたが弱冠28才の若造でありました。爾来29年間、お陰様で無欠席であります。この事は一つには健康であり、又両親、家族に心から感謝しております。

以来三条クラブは14代幹事、及び27代会長も経験させて頂きました。昔は幹事は二年間であります。なんと云いまして最初の入会の時は緊張しました。現三条信用金庫さんの中央支店の二階の奥の部屋がRCの例会場であり、引越したばかりの良い部屋でありました。メンバー数39名、同時入会者は松木屋の広岡豊作さん、新潟井関社長の水田二郎さん3名、私を入れて計42名の大変纏まったクラブでありました。初代会長の金子左武郎さん始め、三条機械の結城太一郎さん、内田鉄衛さん、桑原先生、小出先生等大物がおられ、よろしくご指導願ひしますの一言の挨拶がやっという状態でありました。その頃ドイツ帰りの結城太一郎さんの卓話、桑原先生の妹さんの桑原貞子先生の卓話等、一週間その日の来るのが楽しみであった事を記憶致しております。

ある時S40年の春と思いますが三条ライオンズクラブから野球の挑戦を受けたので出場して欲しいと渡惣さんや、長谷源さんからお誘いを受け、午後仕事を止めて、島田グラウンドを覗いて見ましたら、正式な野球試合でした。最初私はどこでもいいと思って外野かサードか忘れましたが守って

おりましたら、水田投手の球がとれない程重い球の様でしたので、私が捕手を買って出て、水田・中條のコンビを組みました。水田投手は四国の松山商の投手で、同期に水原か、三原か巨人の選手と名門松山商時代の投手で、甲子園に出場した人であります。40才代と思いますが衰えたりと云えども、現役時代と変わらぬ程の重い剛速球であり、素人が打てる様な球ではありません。挑戦したライオンズクラブさんは美加月の横山投手も打たれ、ロータリークラブの前に大量得点を奪われ、二度と野球をやろうと云わなくなりました。私もランニングホームランを打ち、その夜の松木屋さんで祝勝会は賑やか一色でありました。私の記憶する所ピッチャーの水田さん、長谷源さん、本間鉄男さん、渡辺惣吉さん、近藤一朗さん、新田さん等多士済々でありました。

私の入会時のレクチャーは現会頭の鈴木さんでした。ロータリーの歴史から会員としてのマナー資格、特に出席は厳しく云われ、ロータリーは出席にありと云われたことが昨日の様であります。料亭若松の一室での教訓は今でもあざやかに浮んで参ります。そして地区協議会、地区大会、チャーターナイト認証承伝達式、創立何周年行事等義務出席であったと思ひます。

当時の三条クラブの例会は卓話者に事欠かず、東大出身ペニシリン発見者の一人の小出策郎先生の卓話、医師で市会議長の桑原謙一先生のユーモアあふれる卓話、金子左武郎初代会長のご夫婦を始め、皆ご夫婦でクリスマス、桜の季節の花見等、秋は茸狩り、日帰りや一泊旅行等は楽しさ一杯でありました。初代会長金子さん、二代目は桑原謙一さん、三代目小出策郎さん、四代目斉藤権八さん、五代目田巻実さん、六代目鈴木宗資さん、七代目長谷川一雄さん、八代目高橋儀平さん、九代目平原二三郎さん、十代目馬場由太郎さん、十一代目金子俊蔵さん、十二代目渡辺惣吉さん、十三代目田中修造さん、十四代目岩井和夫さん、十五代目加藤峰吉さん、十六代目松川星吾さん、十七代目近藤一朗さん、第十八代目新田義雄さん、十九代目野水文治さん、第二十代藤田説量さんと続くのであります。私はお陰様で先程申し上げました標に十九代目の野水文治さんの会長時代の幹事でありました。そして27代目の三条クラブの会長となり、親友の梨本君から幹事を引き受けてもらい、一年間現中央支店から、反対のあった本店に例会場を移させて頂いたのであります。そして日戸先生が30代会長時、藤田ガバナーを生み、三条北クラブが誕生致すのであります。私が会長時代、見附RCが難産を重ね、誕生致しました。

見附RCも10周年を過ぎ、11年目に入りました々正に光陰矢の如しであります。北クラブ誕生につきましては、多数の方、特に三条、三条南クラブの皆様のお陰で生まれたクラブであります。私は三条クラブを去り難く、一年間三条クラブと北クラブに席をおき、年会費も両方に払う程、三条クラブを去ることに一抹のさびしさを覚えましたが、22年間お世話になったクラブから北クラブの人間になりました。梨本君はすぐに三条クラブの籍を離れましたが、私はふんざりがつかないものであります。まさか、私が北クラブの初代会長となろうとは夢にも考えないものであります。

ここで私なりに思い出もまじえ整理してみますと、ロータリークラブとは何か、私にとっては一つは勉強の場であり、憩の時、やすらぎの所であり、更に奉仕する所と思っております。